

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年9月17日（火）

2 確認箇所

- ・地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア）
- ・1／2号機共用排気筒（1／2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- （1）地下水バイパス一時貯留タンクエリアの現況
- （2）1／2号機共用排気筒解体工事で使用するクレーンの状況

4 確認結果の概要

- （1）地下水バイパス一時貯留タンクエリアの現況について

東京電力はフランジ型タンクの漏えい対策を強化しており、これまで(5月9日、7月9日、7月11日)、RO処理水（淡水）が貯留されているH9タンクエリアの現況を確認してきた。

本日は地下水バイパス一時貯留タンクエリア（写真1）の現況の確認を行った。なお、本日は主に堰やその内部の状況を確認した。

- ・外堰について、西側と南側はコンクリート製の擁壁であり、東側と北側は土堰堤であった。（写真2）
- ・内堰内には雨水が滞留していた。また、内堰と外堰の間の一部にも雨水が滞留していた。（写真3）
- ・目視で確認したところ、堰の亀裂やシートの破損等は確認されなかった。



（写真1）

地下水バイパス一時貯留タンクエリアの状況（南東側から撮影）



(写真 2 - 1)
西側の外堰の状況 (南側から撮影)



(写真 2 - 2)
南側及び東側の外堰の状況 (北側から撮影)



(写真 2 - 3)
東側の外堰の状況 (南側から撮影)



(写真 2 - 4)
北側の外堰の状況 (東側から撮影)



(写真3-1)
内堰内の状況



(写真3-2)
内堰と外堰の間の状況

(2) 1 / 2号機共用排気筒解体工事で使用するクレーンの状況について

1 / 2号機共用排気筒解体工事については、9月12日に筒身の2ブロック目の解体を開始する予定であったが、同日にクレーンのアーム先端に設置された通信設備の異常により通信障害が発生したため、延期となっていた。

本日は、異常があったクレーンの対応状況を確認した。

- ・現場確認時には、クレーンのアームが立ち上がった状態であり、先端の通信設備の異常への対応は完了していた。(写真4)
- ・また、点検のためクレーンは解体時の場所から数メートル南に移動しており、現場確認時には作業員数名がクレーンの点検を行っていた。(写真5)



(写真4)
クレーンのアームの状況



(写真5-1)
クレーンの停留場所
解体工事時は赤丸の位置にクレーン
が設置されていた



(写真5-2)
クレーンの点検の状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。